

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。  
メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

● ●  
インフォメーション 目次

- ●
- |     |             |        |
|-----|-------------|--------|
| 01: | プレスリリース     | ( 1 件) |
| 02: | イベント情報      | ( 1 件) |
| 03: | セミナー情報      | ( 3 件) |
| 04: | 助成事業および公募情報 | ( 2 件) |
| 05: | 事務局からのお知らせ  |        |
- ●

□ ■  
■ 01 プレスリリース ( 1 件)

◆ 1 歳児のスクリーンタイムと 3 歳児の自閉スペクトラム症との関連

本学エコチル調査甲信ユニットセンターの研究チームは、環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」の参加親子約 10 万組を対象に、1 歳児のスクリーンタイム(テレビや DVD の視聴時間)と 3 歳児の自閉症スペクトラム症との関連について解析しました。

新型コロナウイルス感染症の大流行に伴い、ライフスタイルが急速に変化し、世界的にも子どものスクリーンタイムが増加しておりますが、幼児期におけるスクリーンタイムと自閉スペクトラム症に関する大規模調査は、これまでにほとんどありませんでした。

そこで今回調査を行った結果、男児では、1 歳児のスクリーンタイムの長さ と 3 歳児の自閉スペクトラム症の診断の有無が関連していたことが明らかになりました。自閉スペクトラム症の原因は先天的な脳の一部の障害ですが、発症や症状の程度は環境に影響されると言われています。本研究はスクリーンタイムがもたらす幼児への健康影響を見直す必要性が示唆されました。

※本研究の内容は、環境省及び国立環境研究所の見解ではありません。

研究内容等、詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2022/02/20220214pr.pdf>

□ ■  
■ 02 イベント情報 ( 1 件)

◆ 探索保育研究会特別企画「対話の時代の保育の課題—歴史に学び、歴史に生きる—」の開催のご案内

探索保育研究会は、保育園・幼稚園・認定こども園の枠組みを超えて「探索」の仲間をつくること、子どもたちにとって必要な保育について、地域のみinnで考えていくことを目的として、山梨大学教員と山梨大学教育学部附属幼稚園、山梨県内の幼稚園・保育所・認定こども園 4 園を中心に立ち上げた「探索・発見・創造・共同に基づく地域の教育文化創造プロジェクト」から生まれました。

今回は、特別企画として「対話の時代の保育の課題」をテーマに下記

のとおり講演会を開催いたします。山梨の保育・幼児教育の文化をつくっていくことに関心のあるすべての方にご参加いただけます。参加費無料、皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：令和 4 年 2 月 19 日(土) 14:00~16:00  
場 所：オンライン(Zoom)

詳しくは下記 URL よりご覧ください。  
<https://www.yamanashi.ac.jp/36295>

□ ■

■03 セミナー情報 ( 3 件)

◆【甲府商工会議所】非対面型ビジネスモデルの YouTube を活用した営業革命

新型コロナウイルス感染拡大により、営業一つとっても非対面でのコミュニケーションを求められるケースが増えています。社内スタッフ同士のミーティングとは違い、見込み客や既存客とのコミュニケーションでは、ZOOM やチャットワークではカバーできない新しい手法が求められています。

本セミナーでは、今注目されている YouTube による「集客」「クロージング」「顧客フォロー」などの営業場面における活用法について、ネット戦略コンサルタントとして人気抜群の菅谷信一氏が豊富な実績をもとに解説いたします。

日 時：令和 4 年 3 月 8 日(火) 14:00~16:00  
会 場：【現地開催】 甲府商工会議所 多目的ホール  
【オンライン】 ZOOM

詳しくは下記 URL よりご覧ください。  
<https://kofucci.or.jp/seminar/20220308/>

◆【甲府商工会議所】中小企業が取り組むべきサイバー犯罪対策

日本国内におけるサイバー犯罪は激増の一途をたどっています。これまでのサイバー攻撃では、多くの機密情報を有する大企業や官公庁がターゲットだと考えられてきました。しかしながら、最近ではセキュリティ体制が脆弱な中小企業も標的になるケースが相次いでいます。いまやサイバー攻撃は、日本国内にあるすべての企業が標的になっているといっても過言ではありません。

本セミナーでは、直近のサイバー攻撃のより具体的な事例と、その対応策についてご説明いたします。ここでしか聞けないセミナー内容となっておりますので、心よりご参加お待ちしております。

日 時：令和 4 年 3 月 9 日(水) 14:00~16:00  
場 所：甲府商工会議所 5 階多目的ホール

詳しくは下記 URL よりご覧ください。  
<https://kofucci.or.jp/seminar/20220309/>

◆【山梨県中小企業団体中央会】SDGs セミナーの開催のご案内

近頃、テレビや街中でもよく見かける SDGs への取り組みは企業の経営リスクを減らし、ビジネスチャンスの拡大にもつなげることが期待されますが、SDGs の取り組むべき目標の選別を間違えると、仕事の効率化を阻害し 従業員に対するの負担が増すなど、組織や事業活動に対しダメージを与える恐れもあることから、SDGs の持つ本来の目的、事業活動への活かし方、その場合の注意点を理解して取り組まなければなりません。さらに 地域や業界ごとの事業者で構成される中小企業

組合等として SDGs を進めることも効率的な SDGs の推進方法です。今回セミナーでは県内中小企業者の事業継続力を高める取り組みとして SDGs 導入・策定 の見識の高い専門家を招きポイントを学びます。ぜひご参加ください。

日 時：令和 4 年 3 月 1 日(火) 14:00~15:30

場 所：中央会研修室 および Web

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/wp-content/uploads/2022/02/9f816f7f81d935bfb2ae1fd6fc7b4399-1.pdf>

---

■

■04 助成事業および公募情報 ( 2 件)

---

◆【未来計画研究社】令和 4 年度 Mirai プロジェクト募集のご案内

令和 4 年度の Mirai プロジェクトの募集を開始します。

『Mirai プロジェクトとは』

民間企業・団体、自治体と学生が、ともに地域の新たな未来を探るプロジェクトです。

Mirai プロジェクトでは、企業・団体、自治体は学生のアイデアやマンパワーを活用し、プロジェクトを進めることができます。学生は、実際の仕事に触れることで、地域で働くことへの可能性を見出すことができます。

詳しくは下記 URL をご覧ください。

<https://miraiken.yamanashi.jp/news/4198/>

チラシ

[https://kofucci.or.jp/upload/news/2/000006062/pdf\\_02.pdf](https://kofucci.or.jp/upload/news/2/000006062/pdf_02.pdf)

◆【JETRO】米国小売を開拓！通年型オンライン

日本貿易振興機構(JETRO)は、海外オンライン展示会(BtoB マッチングサイト)を通じた日本商品の販売促進を目的とする「通年型オンライン展示会への出展支援事業(JAPAN LINKAGE)」を通じて、海外向け輸出拡大に取り組んでいます。

今般、米国拠点の BtoB マッチングサイト「RangeMe」への日本企業の出展およびプロモーション支援事業を実施することになりました。RangeMe は 2014 年に開設され、米国に拠点を持つ小売製品に特化したクローズドな BtoB マッチングサイトです。主に米国の大手小売企業も調達ツールとして使用しています。アメリカへの進出をご検討の事業様はご参加をご検討ください。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

[https://www.jetro.go.jp/events/dnb/5f17bc5cf4da2bae.html?utm\\_source=jcci.or.jp&utm\\_medium=referral&utm\\_campaign=ex\\_rm\\_jcci](https://www.jetro.go.jp/events/dnb/5f17bc5cf4da2bae.html?utm_source=jcci.or.jp&utm_medium=referral&utm_campaign=ex_rm_jcci)

---

■

■05 事務局からお知らせ

---

～会員企業様の課題をお伺いします～

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。会員企業様の持っておられる技術課題をお伺いします。インターネットを活用したご相談もお受けいたしますので、ご希望の

会員様がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

---



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

